

COP10会場でバイオディーゼル燃料利用

バス燃料にBDF きょうから使用

政府職員 豊郷の「油藤商事」精製
ら利用

名古屋市中で開かれて
いるCOP10で、政府
職員らの移動に利用さ
れるバスの燃料に、豊
郷町の石油製品販売会
社「油藤商事」が精製
したバイオディーゼル
燃料(BDF)が二十
日未明から使われる。

専務の青山裕史さん
(三)豊郷町は「国
際的なイベントにか
わられてうれしい。B
FのPRにもつながら
ば」と期待を寄せる。
使われるのは、家庭
の廃食用油から精製し
た植物油を、軽油に5
%混ぜた通称「B
5」。二十日未明から
三十日未明まで、一日
に最大十六台のバスに
使用される予定で、計
三千リットルが今月十八日に
納品された。
油藤商事が精製した
BDFの品質の高さや
安全性などを考慮した
上で、シェイアル東
海バス(名古屋市中
区)が今月中旬に発注。
バイオ燃料は、二酸
化炭素(CO₂)を排出



自社製のバイオディーゼル燃料を紹介
する青山さん＝豊郷町の油藤商事で

する石油の使用を減ら
すことができる。さら
に植物由来の燃料を使
って出るCO₂は、植物
の成長過程に吸収した
CO₂と同量で相殺され
るため、地球温暖化の
抑止に役立つと期待さ
れる。

一般競争入札で落札
した東海バスに、バイ
オ燃料での運行を依頼
したCOP10日本準備
事務局の担当者は「欧
州と比べて国内では、
輸送車へのバイオ燃料
の導入が遅れている。
国内外に向けてアピ

ルしていきたい」と話
している。

(古根村進然)